



安全で安心できる 住みよいまちづくりを

置戸町長 井上 久男

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の推進に多大なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

置戸町は、大正4年に野付牛村より分村し、本年、100周年の大きな節目を迎えます。これまで本町の礎を築き、その発展に尽くされた諸先輩方のご功績にあらためて敬意を表しますとともに、将来に向けた新たなスタートと位置づけ、さらなる飛躍・発展を願い、協働のまちづくりを進めてまいります。

この記念すべき年を迎えるにあたり、「ともに学び・考え、ともに喜び・祝い、ともに歩み・創る」の基本テーマのもと、11月には記念式典や町民構成劇、7月には野外コンサートなど、さまざまな記念事業を実施してまいりますので、皆さまのご参加とご協力をお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、旧勝山小学校舎の勝山公民館への転用事業や、置戸中学校舎の耐震補強・大規模改修工事の完了など、ハード面の整備を行なうとともに、東日本大震災の教訓を踏まえ、東京都多摩市との災害時における相互応援に関する協定締結や、コープさっぽろとの高齢者の見守り活動に関する協定締結など、住民の安全・安心を支える取り組みを進めてまいりました。

一方、国会では、人口減少の克服に向けた地方の取り組みを促す「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。本町においても平成27年度から5年間を目処とする「地方版総合戦略」を策定し、第5次置戸町総合計画の後期実施計画に反映してまいります。

さて、町の財政状況は、財政健全化を表す健全化判断比率では、一層健全性が保持されているものの、平成27年度の収支見通しは、人口減少や国の財政規律維持による地方交付税の減額などにより歳入不足が見込まれ、財源確保の不安定さが予測される状況にもあります。

また、投資的経費は、簡易水道および下水道施設の大規模改修、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の修繕、ふるさと銀河線跡地整備などの大型事業に加え、開町100周年記念事業を予定しており、財源対策をはじめ知恵を絞りながら、社会資本の整備・充実に努めてまいります。

結びに、今後とも行財政の健全化を図りながら、安全で安心な住みよいまちづくりを推進してまいりますので、町民皆さまの格別なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、輝ける未来に繋がる飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。